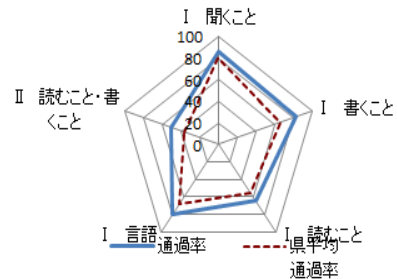


# 指導方法等の改善計画について [国語科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校74.9%, 県63.7%)

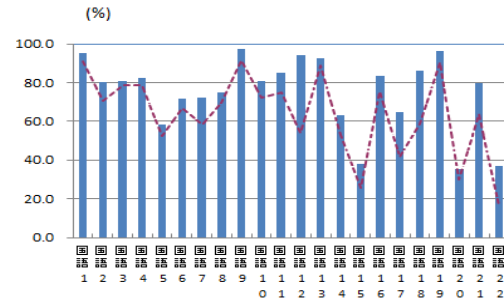
領域別平均通過率

領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(国語)



## 本年度の結果について

### ○全体的な傾向について

タイプIは78.7%となっている。聞くこと・書くことの通過率は80%以上であり、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられる。読むことの通過率は64.5%であり、特に、中心となる語や文を捉えて文章を正しく読む力の定着が図られていないと考える。タイプIIは50.6%の通過率となっており、特に複数の資料から正しく情報を取り出すことに課題がある。

### ○昨年度の課題への取組の成果

文と文のつながりを考えながら書くことの問題に対して、昨年度は73%の通過率であったが、本年度は90%代に伸びた。授業の中で、キーワードを見つけることや適切な接続詞を使うことの活動を習慣化させていったことの成果が表れたと考える。しかし、必要な情報を取り出すことやそれらに関係付けて説明する問題の通過率は昨年度以上に低く、取組の仕方に課題が残った。

## 重点課題

### 【課題1】

設問5(1)や設問6の複数の資料から必要な情報を取り出し、それらに関係付けて書くこと、理由や事例を挙げて書くことの問題では、条件を満たさず、一つの条件で書いたり、条件が理解できていなかったりする児童が多く、必要な情報を取り出すことやそれらに関係付けて説明することに課題がある。(通過率、設問5(1)は35.1%, 6は37.1%)

### 【課題2】

文章の中心となる言葉を書き入れる問題では、読み取りが不十分で文章中のキーワードを見つけることができず、正しい言葉を書くことができていない児童が多かった。(通過率37.7%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

### 【課題1】

条件を満たす解答の方法を理解させるために、条件の内容を読み取ったり、理解したりする学習を繰り返し取り組ませる。また、短文文や作文学習の時間においても条件をもとに記述するといった学習活動を設定していく。その際、接続詞を用いて関係付けて考えを書く書き方も指導する。

### 【課題2】

「読むこと」の領域においては、中心となる語や文をとらえて正しく読めるように、授業の中で、本文に線を引いたり、キーワードに丸を付けたりするなど、印付けの活動を習慣化させていく。また、中心となる語や文を使って、要旨や要点をまとめる指導を徹底する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

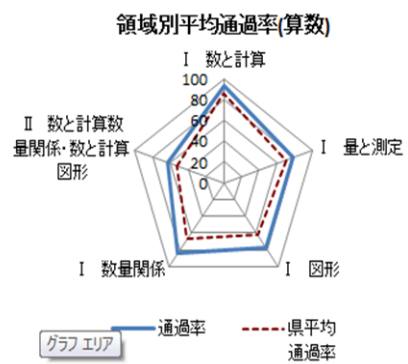
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

# 指導方法等の改善計画について〔算数科〕

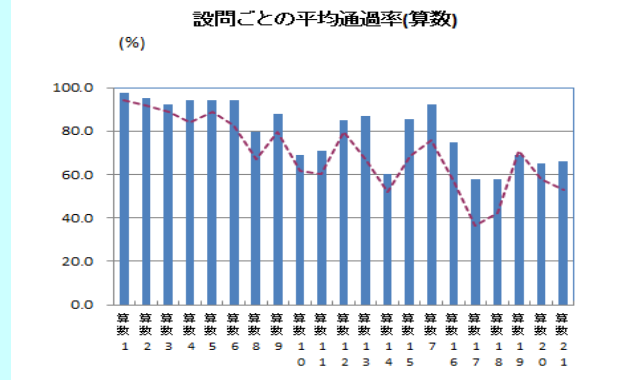
東広島市立西条小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校79.7%, 県69.4%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について  
タイプⅠは84.9%, タイプⅡは63.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられる。しかし、タイプⅡの問題の通過率がどれも50%代、60%代であることから、情報を関連づけて考える力や考えを説明する力に大きな課題があるといえる。
- 昨年度の課題への取組の成果  
言葉や式を用いて考えを説明する問題の通過率が、昨年度の39.4%に比べ、本年度は66.2%に上昇し、改善が見られた。算数の授業の中で、学んだことについて思考を整理したり、自分の言葉でまとめたりする時間を設定したことの成果が表れたと考える。

## 重点課題

### 【課題1】

作図に用いられている図形(ひし形)の約束や性質の理解を問う問題の通過率が低い。(60.3%)算数用語を使って正しく定義を説明する力に課題がある。

### 【課題2】

目的に応じて計算の結果を見積もり、計算の仕方や結果について適切に判断する問題や、折れ線グラフと棒グラフから特徴や傾向を読み取る問題の通過率が低い。(共に57.6%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

### 【課題1】

算数用語や定義を正しく理解し、適切に活用できるように、学習で使用する算数用語や定義を教室に掲示し、授業場面において、意識して使うように指導する。また、実際に操作活動をする中で図形の特徴を捉えさせるとともに、図形の定義と照らし合わせて、図形を論理的に判断させる経験を重ねさせる。

### 【課題2】

情報量の多い問題に取り組ませる際には、問われている内容や分かっている内容を正確に捉えさせ、与えられた条件を整理させたり、自分なりの整理の方法を習得させたりしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

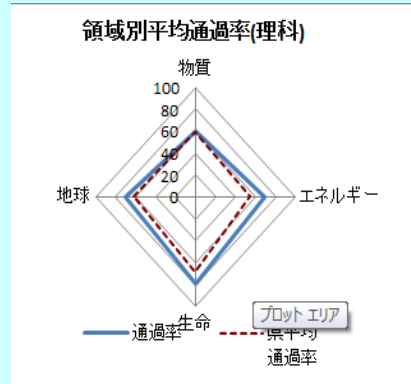
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

# 指導方法等の改善計画について〔理科〕

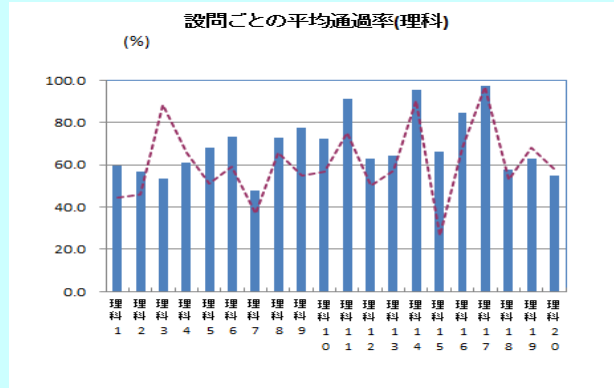
東広島市立西条小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校69.0%, 県60.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について  
理科の結果において、タイプⅠは72.4%、タイプⅡは62.8%の通過率となっている。以前より課題となっていた「生命」「地球」領域の通過率は70%以上あり、学習内容はおおむね理解できている。しかし、「エネルギー」「物質」領域の通過率が、それぞれ67%、60%であり、既習事項の理解が不十分であるといえる。

○昨年度の課題への取組の成果  
昨年度は、「生命」領域の昆虫の体にかかわる問題の通過率が61.3%と低かったが、本年度は91.4%まで通過率が伸びたことから、観察の視点を明確にして取り組ませたり、観察したことを図や文章で的確に表現できるように指導したりした成果が表れたと考える。

## 重点課題

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

「物質」領域の物の重さのはかり方の通過率が59.6%、アルコールランプの正しい使い方が53.6%と低く、用具の正しい使い方が十分に定着していない。

### 【課題2】

習得した知識を身の回りの物に適用しながら問題解決していく設問の正答率が低かった。記述式問題の解答の仕方では、思考が短絡的で、順を追って説明していく丁寧さの足りない文章表現が多く見られた。

### 【課題1】

授業の中で、児童が実際に用具を操作しながら実験や観察をする場を大切に、正しい使い方が身に付くような指導を継続して行う。また、実験や観察したことを図や文章で適切に表現できるように、日頃から習慣付けるようにする。

### 【課題2】

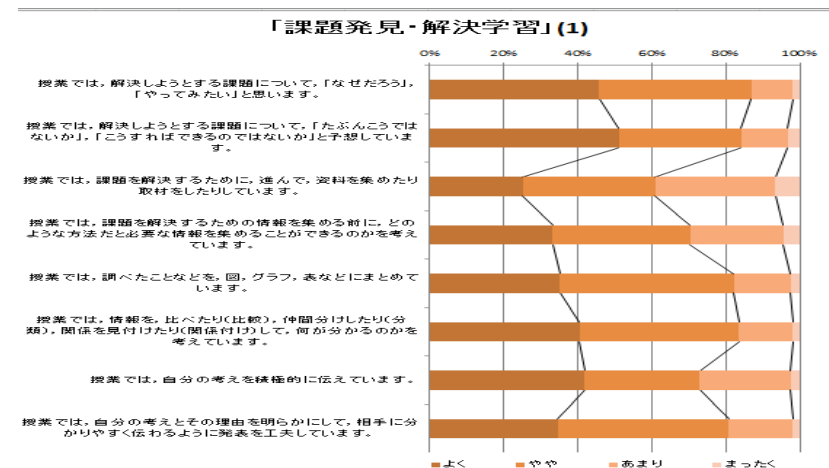
日頃の授業で、教師自身が理科用語を意識して使用する。そのことにより、理科の時間での言葉の使い方が児童に定着していくように意識させる。また、単元末には、日常生活と既習事項を関連付けて事象を説明する課題を設定し、説明の仕方を工夫させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 H28「基礎基本」		5年生 H28「全国学力」		4年生 H28「基礎基本」	5年生 単元末テスト
目標値		80.0%		60.0%		70.0%	80.0%
実施後数値							

## 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

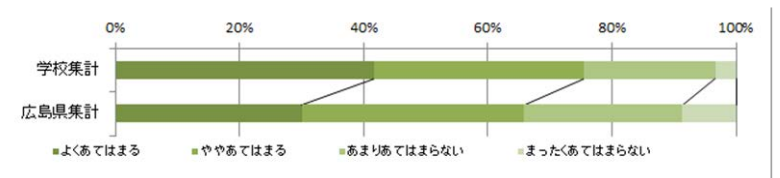
### (1) 生活・学習



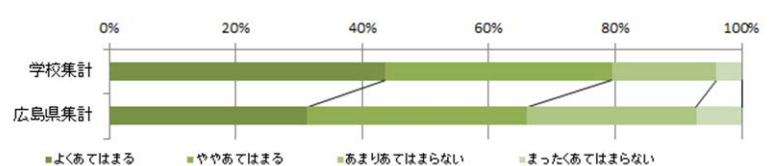
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。」という質問に対して、肯定的回答をした児童の割合は、60.9%であった。	授業では、「課題発見・解決学習」の過程を意識して取り組む。課題の設定の時間を大切にし、児童の意欲を喚起し、課題を明確にもたせるような活動や学習環境を工夫する。また、学習計画を児童とともに立て、児童が見通しをもって自ら学ぶことができるような単元構成を行う。さらに、情報収集の具体的な方法を指導する。	5	75%以上	児童アンケートを実施して、検証する。	12月		

### (2) 教科

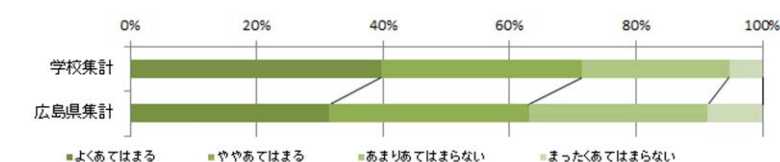
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」という質問に対して、肯定的回答をした児童の割合は、75.5%であった。	単元学習計画表などを用いて、授業後や単元終了時に、学んだことや身についた力などの振り返りをする場を設定する。その際、自分の伸びを自覚させ、学んだことを次に生かせるように、指導する。	5	80%	児童アンケートを実施して、検証する。	単元終了時		
算数	「算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」という質問に対して、肯定的回答をした児童の割合は、79.5%であった。	算数の授業において、理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明する機会を増やすとともに、説明の仕方を示して指導したり、積極的に理由を挙げて発表している児童を認めたりする。	5	85%	児童アンケートを実施して、検証する。	単元終了時		
理科	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。」という質問に対して、肯定的回答をした児童の割合は、71.5%であった。	理科の授業において、ペア学習やグループ学習を取り入れ、お互いに自分の考えを伝え合う場を意図的に設け、学び合うことよさを感じることができるようにする。	5	80%	児童アンケートを実施して、検証する。	単元終了時		